



一般会計補正予算（4億3039万円追加）

新鴻巣中央図書館整備事業費 2億8561万6千円の追加補正

12月定例会

会期
11月25日
～12月15日

12月定例議会は、11月25日～12月15日までの21日間で開催され、市長提出議案として平成21年度補正予算案など21件、請願5件、意見書2件、議員提出議案2件が提出されました。それぞれ慎重に審議した結果、請願はすべて不採択、その他議案は原案のとおり可決されました。

新鴻巣中央図書館整備事業

問 中央図書館としては床面積が1069・7㎡では狭いと思うが。

答 現在の図書館よりも広く確保し、800㎡を下回ったら効果がないので、利用者に対してはゆったりとくつろげるスペースにし、また蔵書数についても現在の図書館と同規模の蔵書数を考えています。

問 新図書館には何名ぐらい収容できるか。

答 現図書館の座席数が70席ですので、100席は確保しようと考えています。およそ200名程度の方が収容可能と考えています。

問 同じビルの中にゲームセンターがあるが騒音対策は大丈夫か。

答 共有ビルの形態の図書館の基準

デシベル)は45です。共用部分の数値は大体50から60デシベルという数値ですが、今回の設計で防音壁、それと風除室をつくり、図書館内が基準45デシベル以下、実際には38から39程度の設計で考えています。

音の大きさを表わす単位。一例をあげると30デシベルは深夜の郊外、ささやき声。40デシベルは深夜の市内、50デシベルは静かな事務所、扇風機60デシベルは普通の会話、チャイムなど。

問 新図書館脇の駐輪場は図書館利用者専用の駐輪場として使えるのか。

答 現状の周囲の駐輪場は再開発組合が設置・運営しているものですので、今後再開発組合と協議検討する予定です。

問 現在の図書館を残して、子ども専用、あるいは学習専用の図書館にできないか。

答 教育部内でそのような検討もし

てきましたが、現状ではあくまでも閉架書庫としての活用を考えています。

超過勤務手当増額 税滞納者への収納対策

問 超過勤務手当が増額になっているが、職員の異動や税金を徴収するためとは関係があるのか。

答 人事異動により職員の給料と役職の変わったものと、税滞納者への対応などで時間外勤務の増などがあります。

問 職員が滞納者のところへ徴収強化するために行くのに昼間に行ったりでは留守が多いので、夜間になり勤務時間以降に訪問することなのか。

答 超過勤務手当については、捜索・インターネット公売・動産・自動車等差し押さえ部分について、時間外もやむをえないなどの部分も出てきます。

臨宅徴収については、平日の昼間

に行つたものには文書等を差し置きしてきます。それらについては電話による問い合わせが来ており、夜の臨宅は原則行っておりません。

問 高額納税者の滞納は許せないと思うが、どのようにしているのか。

答 財産があるかどうかは、調査権を市が持っていますので、預金・給与調査、例えば保険類の保険会社に照会をかけて、差し押さえをしていくという形を進めています。



市内に配置されている防災無線

全国瞬時警報システム 改修工事

問 北朝鮮のテポドン・ミサイルの際に、誤報というのがあったと思います。

答 全国瞬時警報システムは、瞬時にして全国の本部・消防庁に流れるシステムと解釈してよいのですか。

有事のとき、あるいは大規模災

害が発生すると予想されるとき、気象でいえば気象庁が、有事でいえば内閣府でそれを確認して消防庁に連絡し、消防庁から全国の市町村にその情報が一斉に流れます。

最終的には、市町村で必要だと思つたときに、防災無線を通じて市内全戸に周知するという形です。



北鴻巣駅西口に設置されている防犯灯

防犯灯対策事業費

問 防犯灯対策事業には修繕、防犯灯設置工事等がありますが、球切れについてはどの程度の予算があり、またポールの修理についてはどのよう

答 20年度の修繕料1152万円、修繕件数は2746件、一件当たり約4200円です。新設置工事は58件あり、一件当たり2200円です。

生活保護の現況

問 生活保護扶助事業で2937万円の増額だが。

答 平成21年9月の生活保護世帯の実数は保護世帯数441世帯で、昨年の夏から秋にかけ増加している状況です。441世帯のうち高齢者世帯が181世帯、障がい者世帯が77世帯、傷病者世帯が107世帯、母子世帯が30世帯、その他世帯46世帯です。申請件数は経済状況の影響を受けるので、埼玉県の平成21年9月の有効求人倍率が0・35という状況を考えると今後増加傾向にあると考えています。

北新宿第二土地画整理事業の終結は

問 この事業の完了年度はいつぐらいを考えているのか。

答 平成7年に事業認可を受けてから15年という期間が過ぎています。現在の事業進捗率は20・2パーセントです。19年度に開催したワークショップでの地元の意見としては10年から15年ぐらいを目標にしてくれないかという要望でしたが、行政としては今後の経済状況、あるいは、市全体の政策もありますが、地元の住

民の要望を真摯に受けとめたいと考えています。



早期完成が望まれる北新宿区画整理事業

ファミリーサポートセンター 連絡所を箕田児童センターに 統合

問 鴻巣と吹上の連絡所が統合されるといふことだが、不便にならないか。

答 前の吹上連絡所は支所にあり、鴻巣の連絡所は南学童保育室があったところでしたが、駐車場の関係で不便をかけていました。今回児童センターへ統合することによって駐車場の不便さが解消し、また基本的に

は電話での相談が多いようです。不便にはならないと考えています。

次回の市議会議員選挙は 定数26人で決定

鴻巣市・吹上町・川里町法定合併協議会では次回の市議会議員選挙の定数は28人とする取り決めでしたが、近隣合併市等の状況を鑑み法定合併協議会決定数よりも2名少ない定数26人で次回市議会議員選挙を行うことが12月議会最終日に議員提案により決定いたしました。

問 合併協議会で全体的な協議の中で、議員も自ら定数削減をしないと市民の理解が得られないと考えます。

答 昨今の経済情勢や職員定数減少の中で、議員も自ら定数削減をしないと市民の理解が得られないと考えます。

問 議員を減らすことによって、市民の声が届きにくくなり、市政のチエック役としての議会の役割・権能の低下につながると考えるが。

答 議員個々人がさらに研さんを深め、議会機能を充実させ、民意の反映に努めることが重要だと考えます。地方分権の時代にあつて、議会の役割は重要だと認識していますが、12万人規模の市の全国的な議員定数平均は24〜26人です。